

## 特集「立命館と戦争」（立命館百年史を追捕して）

アジア太平洋戦争中の立命館学園については、『立命館百年史 通史一』（一九九九年）において詳述している。

しかしながら、発刊後二〇年を経て再調査の結果新たな事実が判明したこと、紙幅の関係で割愛された事項が多くある。

ここでは、「立命館と戦争」（立命館百年史を追捕して）と題しこうした事項の内から三編を掲載した。

ひとつ目は、学徒勤労動員にともなう死亡者の再調査結果で判明した九名の学友の軌跡で、『立命館百年史 通史一』では未調査の事項である。

ふたつ目は、戦時中他の組織や大学と同じように立命館も実施していた軍への献納に関する軌跡で、『立命館百年史 通史一』では割愛された事項である。

最後に、立命館中学校における戦前の姿で、『立命館百年史 通史一』では大学史を中心に記述されているため、省略された部分がある事項である。

いずれも、「平和と民主主義」を教学理念とする学園にあつては決して忘れてはならない事歴であり、記録する価値のある歴史と考えている。

是非ご一読いただきたい。

